



畜産業の振興は

与那覇在住
新垣 幸一さん

私は、酪農業を始めて12年になる。現在は、町内で40頭の牛を養っている。牛の健康状態を維持するために、餌の食べ具合や排泄、目、鳴声、搾乳量、天候の変化等、日々我が子のように接している。また、仔牛の出産に立ち会う感動は、すごく神秘的だ。そんな毎日の労をねぎらってくれるのは、牛

乳を飲んでくれる子どもたちからの手紙。「おいしい牛乳をありがとう」の一言で明日への活力となる。現在の畜産業は、住宅・商業地が増え、基幹道路が整備される度に、まるで迷惑施設であるかのように、隅に追いやられていく気がする。搾乳機や貯乳槽、農機具、運搬車両、牧草等、

生き物を相手に業を成すことは、至難の業だ。牛舎の整備するために多額の借金をしてきた。みんなのためにやっているつもりが、なんか冷たい。今後の畜産業はどうなるか心配だ。行政や議会に現状を理解して欲しい。

議会だより内の って何？



はQRコードといってこのの中にさまざまな情報を入れることができます。

一般会計や特別会計、意見書や議案の議決結果。本会議中の質疑や採決、一般質問の様子などをお知らせしています。

スマホやタブレットをQRコードを読み込んで議会HPや議会中継をご覧ください。



◀左のQRコードを読み取ることで議会中継サイトに繋がります。



次回定例会の開会予定

6月8日(火)午前10:00

表紙の題字・写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか。表紙の題字と写真を募集中です。のびやかな題字や笑顔あふれるお写真をお待ちしています。ご意見・要望なども広く募集しています。議会だよりへのご意見・ご感想も受け付けています。

連絡先:議会事務局(担当:広報係 山中)

TEL.889-3097 FAX.889-4499

E-Mail H8893097@town.haebaru.okinawa.jp

編集後記

議会広報の頁数が減り、取捨選択しながら誌面を考える。できるだけ多くを伝えたいが限られた頁数に、「どうしたら多くの情報が伝えられるか」委員各々悩みながら誌面づくりが続く。

3月定例会は新年度予算審議、主要施策は伝えたい。4月に入り臨時議会が2回あり、それも早めに伝えたい。少ない誌面をどう使うか、確認して再度組み直したりと頁数は減っても会議数は減らない。広報紙を活用しながら、「町民の皆様へ多くの情報をお届けしたい。」その思いで作成に励んでいます。どうぞでしょうか？

皆様からのご意見ご感想をお聞かせください。
(担当)議会広報委員 赤嶺 奈津江